

ヒューマンライツ・フェスティバル 2024

記念講演

「共に生きるとは何か ー難民の声、家族の歴史から考えた多様性ー」



©Dialogue for People

認定NPO法人Dialogue for People副代表
フォトジャーナリスト

安田 菜津紀さん

シリアでの戦争、ガザへの軍事侵攻が続くなど、世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます

2024. **12.7** (土)

午後2時から(開場 午後1時30分)

エナジーホール

(京阪守口市駅前・守口文化センター)

入場無料

定員 先着400名(要予約)

- 人権啓発作品(標語)入選者表彰式
- 記念講演



【主催】守口市／守口市教育委員会／守口市人権協会

【協賛】守口地区人権擁護委員会／守口市企業人権推進連絡会

★手話通訳・文字通訳あり

★申込み 電話または専用フォームから 守口市人権市民相談課(Tel.06-6992-1512)

安田 菜津紀さんプロフィール

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People(ダイアログフォーピープル/D4P)フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』(ヘウレーカ)、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

人権週間(12月4日から10日) 「誰か」のことじゃない

国際連合は、世界における基本的人権を確保するための国際的な共通の基準として、世界人権宣言を採択し、その日を記念し、12月10日を「人権デー」と定めています。

我が国では、法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めており、全国各地では人権啓発活動が行われています。

守口市・守口市教育委員会では、毎年人権週間を記念して、守口市人権協会とともに、ヒューマンライツ・フェスティバルの開催や街頭啓発などに取り組んでいます。

市民人権 なんでも 相談所開設

日時：12月7日(土)
午前10時～
午後1時

場所：守口文化センター
3F会議室2

※相談無料・秘密厳守

ひとりで悩まずに、ご相談下さい

人権相談

守口市役所 南エリア5階 相談室507
(1) 毎週月・水・金曜日…9時～12時
(2) 毎週木曜日……………13時～16時
(3) 電話相談……………毎月第2・4金曜日
17時～20時
電話06-6992-1512

〇LGBTQ+人権相談

相談員 トランスジェンダー当事者
柴谷宗叔氏
毎月第2木曜日 17時～20時
要予約(電話またはオンライン)

女性のための悩み相談

心理臨床カウンセラー・中井紀子氏
守口市役所 南エリア5階 相談室507
第1火曜日～第4火曜日 13時～16時
1人50分 要予約(電話またはオンライン)

予約・問い合わせ

人権市民相談課
電話 06-6992-1512

《いずれも祝日・年末年始は休み》